



# 2013年度第3四半期決算の概要(補足資料)

---

三井化学株式会社

2014年2月

1) 2013年第3四半期決算の概要	・・・ 1
2) 2013年度第3四半期 事業の概況	・・・ 2
3) 機能化学品セグメントの増減概要（売上高・営業利益）	・・・ 3
4) 機能樹脂セグメントの増減概要（売上高・営業利益）	・・・ 4
5) ウレタンセグメントの増減概要（売上高・営業利益）	・・・ 5
6) 基礎化学品セグメントの増減概要（売上高・営業利益）	・・・ 6
7) 石化セグメントの増減概要（売上高・営業利益）	・・・ 7
8) フィルム・シートセグメントの増減概要（売上高・営業利益）	・・・ 8

# 1) 2013年第3四半期決算の概要

(単位:億円)

摘 要	12年度	13年度	増減	増減率
	4-12月決算	4-12月決算		
売上高	10,074	11,088	1,014	10%
営業利益	25	151	126	513%
営業外損益	△11	△10	1	—
経常利益	14	141	127	880%
特別損益	△53	△229	△176	—
税金等調整前四半期純利益	△39	△88	△49	—
四半期純利益	△97	△185	△88	—
為替レート(円/\$)	80	99	19	
国産ナフサ(円/KL)	55,400	65,700	10,300	

## 2) 2013年度第3四半期 事業の概況

国内自動車産業が円安効果を背景に輸出車を中心に好調な生産を継続し、また住宅、公共事業関連分野での需要拡大により、石化、機能樹脂は総じて堅調に推移しています。

北米の自動車も好調を継続しており、PPコンパウンド事業も堅調です。

メガネレンズモノマー、不織布等のヘルスケア製品群および農薬についても、計画を上回って収益を拡大させています。

電材関連事業においては、スマートフォン向けに販売拡大しているアペル等の機能性ポリマー製品を中心に堅調に推移しています。

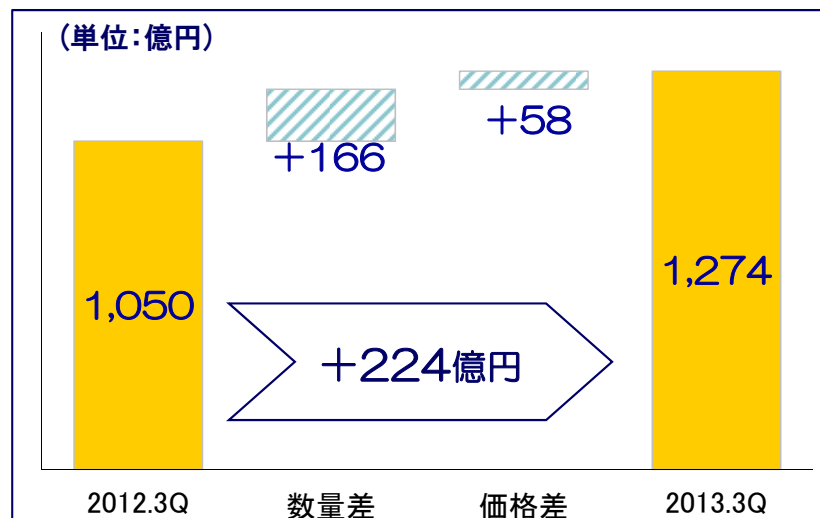
フィルムシート関連は、包装フィルムについては価格改定の効果、電子・光学用フィルムについてはスマートフォンを始めとした高付加価値分野の需要拡大および円安効果により収益を拡大しております。

一方、大型市況製品である、フェノール、PTA、TDIの3事業については、中国市況の低迷、中国内需の成長鈍化、供給過剰の継続を背景に厳しい状況が続いています。赤字3事業の大規模な再構築策実行により、早期の収益改善を図ってまいります。

### 3) 機能化学品セグメントの増減概要(売上高・営業利益)



#### 売上高増減 (2013年第3四半期対2012年第3四半期)



1,274億円 (前年同期比 +224億円)

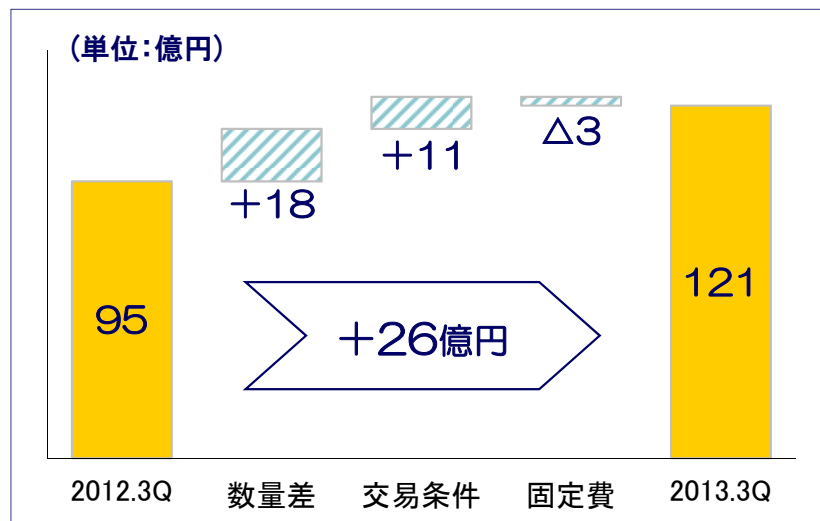
**数量差 +166億円**

メガネレンズモノマー、農薬の海外需要の拡大。

**価格差 +58億円**

農薬輸出等の為替差。

#### 営業利益増減 (2013年第3四半期対2012年第3四半期)



121億円 (前年同期比 +26億円)

**数量差 +18億円**

海外を中心としたメガネレンズモノマー、不織布および農薬等の増販。

**交易条件 +11億円**

主に農薬等での為替差。

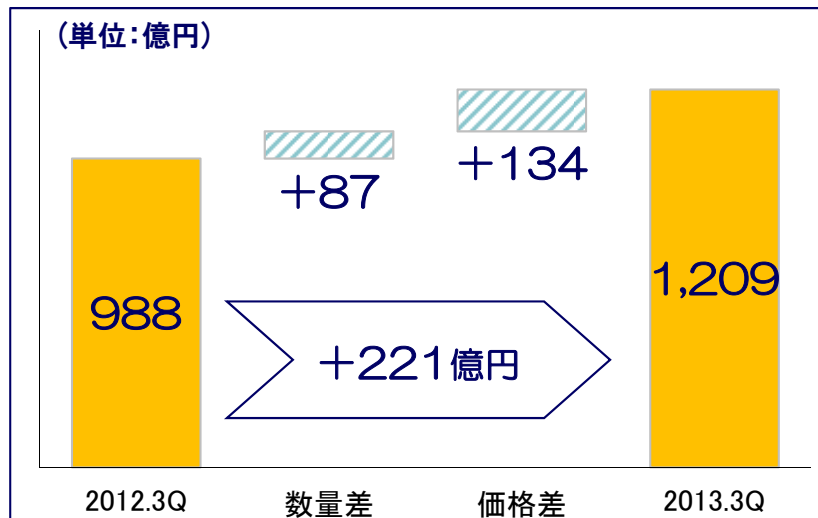
**固定費他 Δ3億円**

岩国休止固定費の戻り等。

# 4) 機能樹脂セグメントの増減概要(売上高・営業利益)



## 売上高増減 (2013年第3四半期 対 2012年第3四半期)



**1,209億円 (前年同期比 +221億円)**

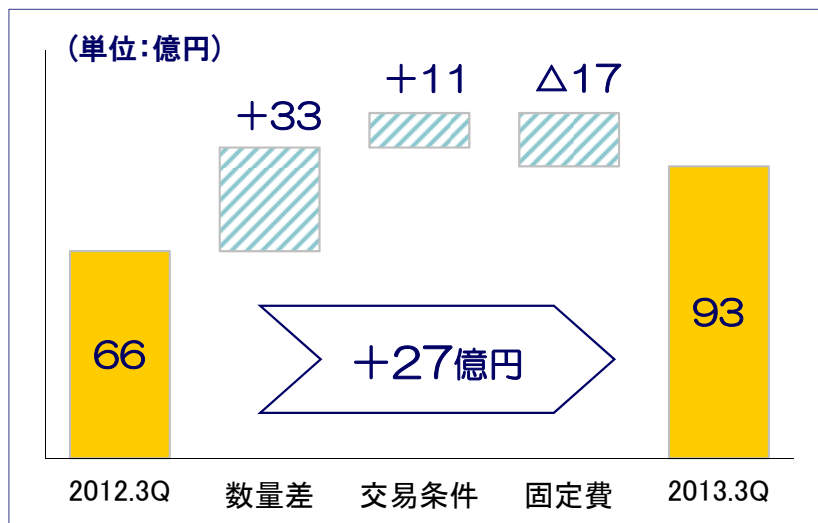
**数量差 +87億円**

北米を中心とする自動車用途の需要拡大により、エラストマー、機能性コンパウンド等で拡販。スマートフォン向けに需要が拡大しているアペルの拡販等。

**価格差 +134億円**

主に為替差による増収。

## 営業利益増減 (2013年第3四半期 対 2012年第3四半期)



**93億円 (前年同期比 +27億円)**

**数量差 +33億円**

自動車用途の需要拡大に伴い、エラストマー、機能性コンパウンドが増販。スマートフォン向けに出荷が好調な機能性ポリマー製品も増販。

**交易条件 +11億円**

為替差および機能性ポリマー等の交易条件改善。

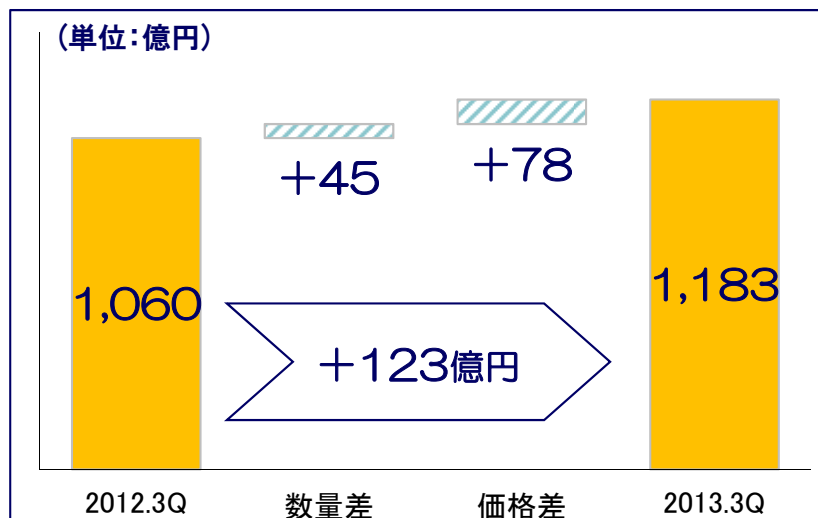
**固定費他 △17億円**

主に岩国休止固定費の戻り。

# 5) ウレタンセグメントの増減概要(売上高・営業利益)



## 売上高増減 (2013年第3四半期 対 2012年第3四半期)



**1,183億円 (前年同期比 +123億円)**

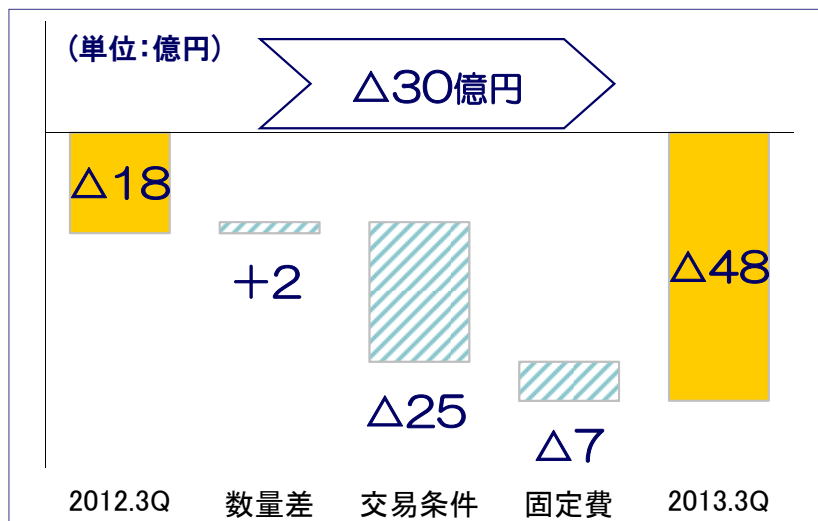
**数量差 +45億円**

TDI等ポリウレタン材料の海外での販売数量増加および包装用接着材等のコーティング・機能材の海外需要の拡大等。

**価格差 +78億円**

主に為替差。

## 営業利益増減 (2013年第3四半期 対 2012年第3四半期)



**△48億円 (前年同期比 △30億円)**

**数量差 +2億円**

包装用接着材等のコーティング・機能材の海外需要の拡大等。

**交易条件 △25億円**

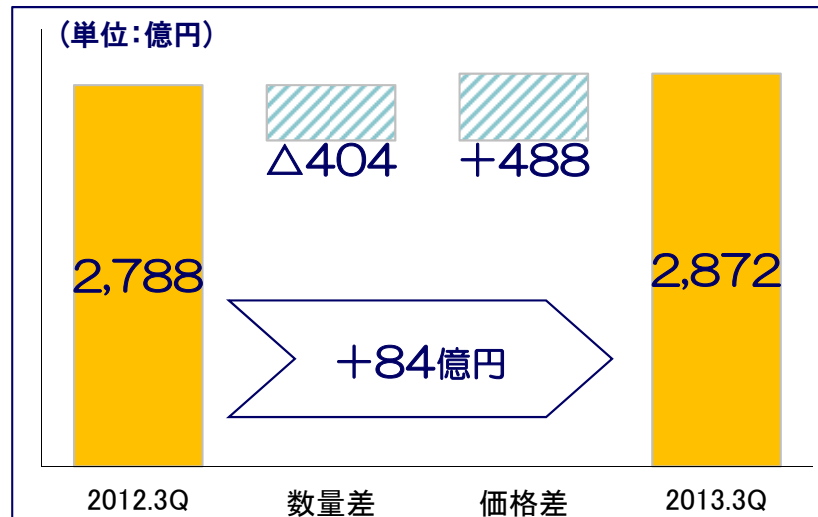
海外のTDI市況下落および原燃料価格の上昇。

**固定費他 △7億円**

主に岩国休止固定費の戻り。

## 6) 基礎化学品セグメントの増減概要(売上高・営業利益)

### 売上高増減 (2013年第3四半期対2012年第3四半期)



**2,872億円 (前年同期比 +84億円)**

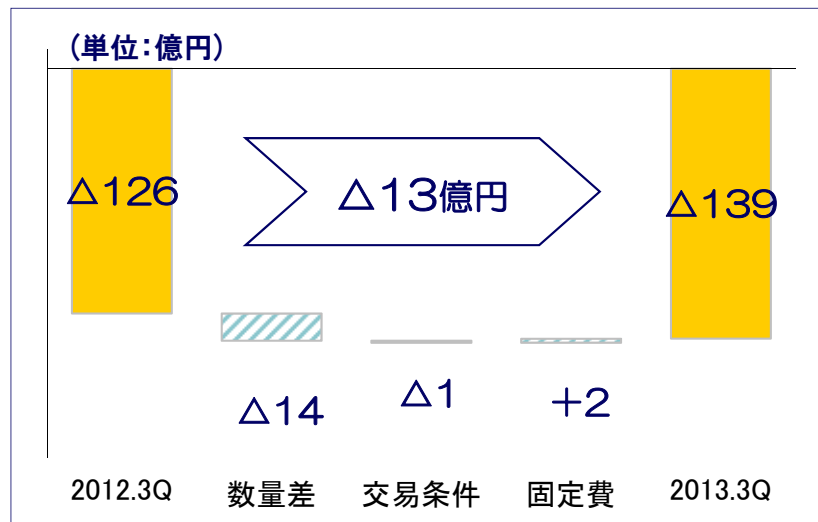
**数量差 △404億円**

事故影響の戻りがあるものの、PH類、PTAの中国を中心とする需要低迷、タイPTA子会社の持分法適用会社への異動により減収。

**価格差 +488億円**

輸出、海外品の為替差およびPH類、PTAを中心とした原料価格上昇に伴う国内での販売価格上昇による増収。

### 営業利益増減 (2013年第3四半期対2012年第3四半期)



**△139億円 (前年同期比 △13億円)**

**数量差 △14億円**

PH類、PTAのアジア需要後退に伴う減販。

**交易条件 △1億円**

事故影響の戻り、在庫受払差のプラス要因があるも、主にPH類のアジア市況低迷および原料ベンゼンの高止まりによる減益。

**固定費他 +2億円**

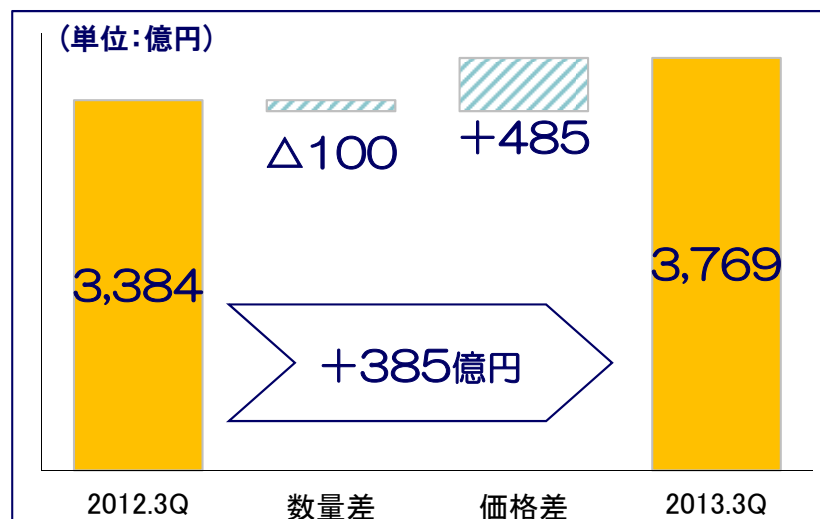
岩国休止固定費の戻り等があるも、タイPTA子会社の持分法適用会社への異動による固定費の減少、コスト削減努力。



# 7) 石化セグメントの増減概要(売上高・営業利益)



## 売上高増減 (2013年第3四半期 対 2012年第3四半期)



**3,769億円 (前年同期比 +385億円)**

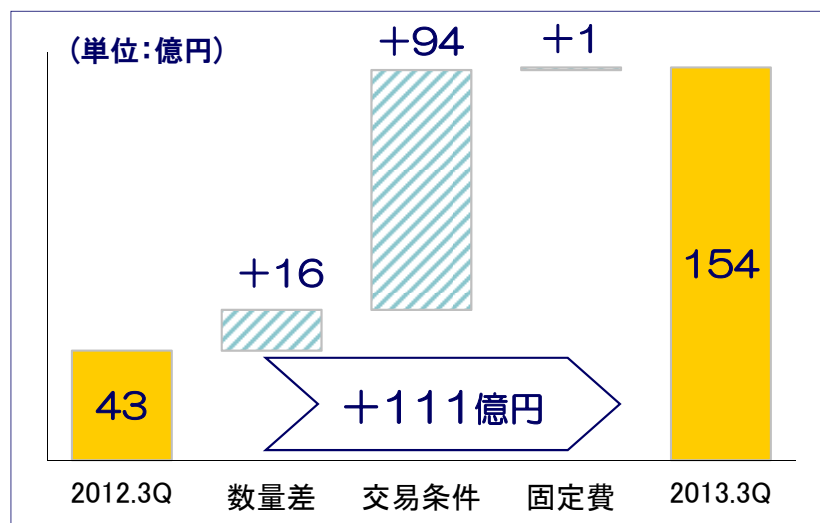
**数量差 △100億円**

海外の自動車向けPPコンパウンドは好調に推移するも、国内汎用ポリオレフィン向けの販売数量減等。

**価格差 +485億円**

為替差、原料価格上昇に伴うポリオレフィン価格の上昇。

## 営業利益増減 (2013年第3四半期 対 2012年第3四半期)



**154億円 (前年同期比 +111億円)**

**数量差 +16億円**

海外PPコンパウンドの増販により増益。

**交易条件 +94億円**

ナフサクラッカーの稼働率向上、合理化対策、コストダウン等による増益およびナフサ価格上昇による在庫評価益による増益。

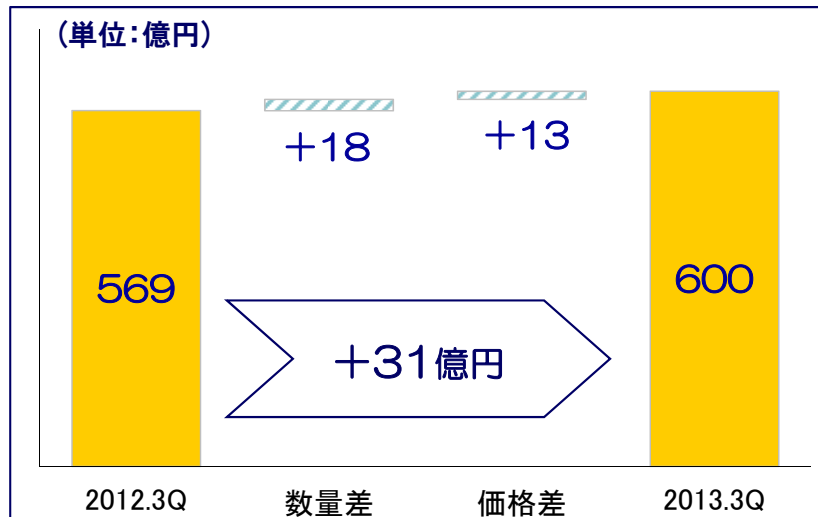
**固定費他 +1億円**

ポリオレフィンプラント停止に伴う固定費の減少等。

# 8) フィルム・シートセグメントの増減概要(売上高・営業利益)



## 売上高増減 (2013年第3四半期 対 2012年第3四半期)



**600億円 (前年同期比 +31億円)**

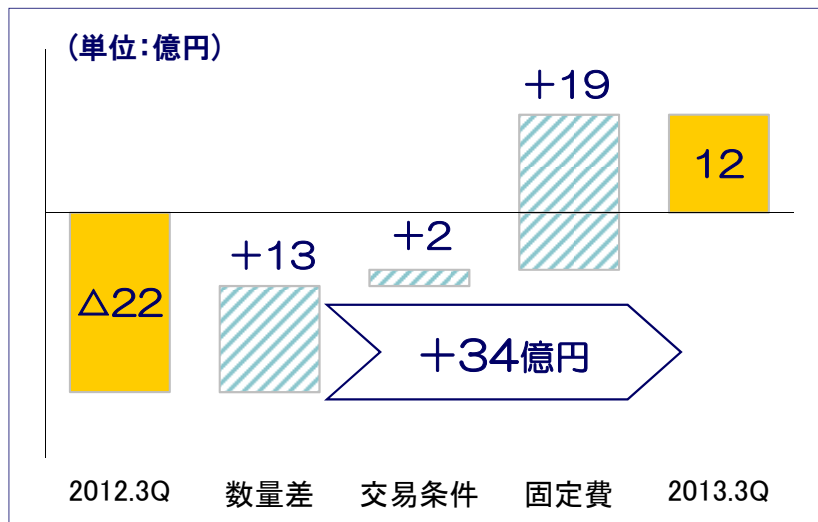
**数量差 +18億円**

産業用フィルム、機能シートの増販。

**価格差 +13億円**

包装フィルムでの原料価格上昇に伴う販売価格改定の影響、産業用フィルムでの半導体製造工程用フィルムの為替差による増収。

## 営業利益増減 (2013年第3四半期 対 2012年第3四半期)



**12億円 (前年同期比 +34億円)**

**数量差 +13億円**

産業用フィルム、機能シートの増販。

**交易条件 +2億円**

主に為替差による増益。

**固定費他 +19億円**

前期の設備減損を始めとした固定費減少および経費減等。